

2010「野に還る」

- ・男らのおしゃべり果てずこぶし咲く
- ・土と火の匂う遺跡の春を待つ
- ・堅穴住居に何かの気配五月闇
- ・囀（サエズ）りや堅穴住居は大家族
- ・雪解川うねりて注ぐオホーツク
- ・春寒し離農のサイロ野に還る
- ・川に沿う芽吹柳の明るさよ
- ・放流の稚貝の年輪春きざす
- ・前を行くトラクター玉葱苗積んで
- ・白蓮の咲いて主なき母の家

2011「時を植える」

- ・苗木植え時を植えると思ひけり
- ・青鷺の鳴き交わす空家間近
- ・仔等じゃれあう母熊の名はトンコ
- ・大地黒くたんぼの咲くライオン舎
- ・峠越え青麦育つ火山灰地
- ・ほっちゃんれ食む故郷若葉の中にあり
- ・清流や食べられそうな若葉かな
- ・りんご梨ピンク白ピンク白と散る
- ・水うまし山菜うまし故郷は
- ・たんぼぼの絮（ワタ）つきつきと

湯に浮かぶ

池田作

東京タワー水彩画で

古賀国夫さんが北見市で個展

東京タワーをテーマにした水彩画を描く古賀国夫さん（古賀恵美子さんの義兄）の個展が北見市の河西ぼたん園内で開かれました。古賀さんは、2003年に作った北見のご当地ソング「北見のひとよ」のCD制作にかかわっていただき東京北見会でも大変お世話になった方です。

会社員時代、東京タワーが目の前に見えるオフィスに勤務。時間や季節、天候などで表情を変える姿にみせられ、6年前からタワーをテーマにした水彩画を描き始めたとのこと。1日1枚を目標に制作し、2006年2月に東京で初個展を開催。横浜や福岡を回り、北見は5ヶ所目の個展開催。

会場には、はがき大からA4サイズ他的作品11点が並ぶ。仏壇や女性の写真をカラージュしたり、擬人化したような作品などさまざまな姿の東京タワーが展示されました。東日本大震災以降の作品では、本物のタワーと同様に先端が少し曲がった表現になっています。作品は販売もされ、売り上げの半分が被災地に寄付されました。



東京北見会の皆さんへ

東京北見会

北見支部 支部長 吉岡勝次郎

今年も第6回平成屯田兵としての来北する皆さんを心待ちにしています。

古賀隊長さん一行を旭川空港で迎え、旭川観光をして石北峠を越え北見まで楽しいバス旅行をして来ました。

北見での皆さんの歓迎のお手伝いをするために、何となく出来た北見支部ですが、初代支部長の加藤ケイ子さんから今年3月の臨時総会（単なる高校同期の飲み会）で、二代目支部長を引き継ぎました。

私は、祖父 兵次郎（明治5年石川県生まれ）父 正次郎（明治32年生）そして三男 勝次郎（北見の次郎長一家？ちなみに息子は祐次郎）として北見開拓屯田兵（明治30年入植）の孫（三世）として北見に生を受け現在に至っております。

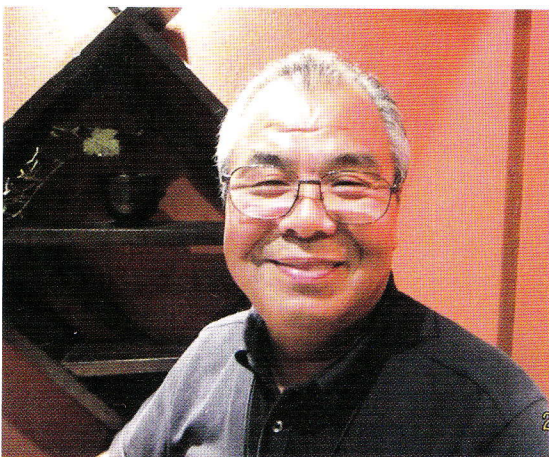
数年前に縁あって、屯田兵の末裔の会である「北見屯田会」（端野屯田会・相内屯田会も別にあります）の会長を任される事になり活動をしています。が、その関係で最近北見の歴史に少し関心を持って、屯田兵に関する資料を集めています。

東京北見会の会員の皆様は、早くから上京され頑張って活動し、各々の歴史を築かれている事と思います。誰も知らない土地でゼロからの出発をされ、現在に至っている事は本当に素晴らしい事と思います。

最近の北見は何かと疲弊して活気を失っていますが、東京北見会の皆さんに今一度活を入れて頂き、素晴らしいふるさと北見を築きたいと思っていますので、今後も平成屯田兵として応援を宜しくお願い致します。

私はいつまでも皆さんのお帰りを待っていますので、気軽に声懸けて下さい。

来年の平成屯田兵でまたお会いできます事を期待しております。



東京北見会 北見支部会長 吉岡勝次郎氏。